



かしの木

第23号

祝 創立150周年

教職員の働き方改革について

「学校の先生の労働環境は超ブラックだ」「定額遣い放題」などと、マスコミで報道されることがあることは御存知だと思います。小学校の4割、中学校の6割、高校の5割の職員が月あたり45時間以上の超過勤務をしています。過労死ラインと言われる80時間以上の超過勤務をしている職員も4~5人に1人以上います。

そうした超過勤務を根本的に見直し、改善を図るために、福島県教育委員会は「教職員働き方改善アクションプラン」を策定し、ここ数年改善に取り組んできました。スクールサポートスタッフの配置や一斉下校日の設定、会議の精選やオンライン化など改善を図ってきています。本校でも会議を精選したり、出張を減らしたりするなど、取り組んでいるところです。

二本松市の教職員の勤務時間は8:00~16:30です。ですが、朝7時には登校するお子さんがいたり、欠席等の連絡があったりするので、7時には受け入れが可能な状態にしています。この傾向は二本松市内全ての学校が該当しています。

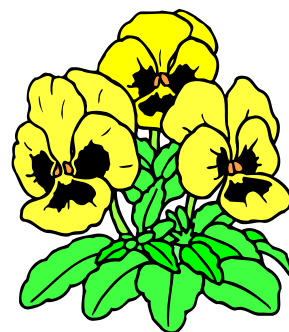
下校後の保護者への連絡、事務整理、授業の準備などを終わると、7時、8時過ぎになることも珍しくありません。

校長として危惧していることは、そうした業務遂行によって「担任と子どもたちが会話をしたり、一緒に遊んだりする交流や関わる時間が少なくなること」「担任が疲労感や負担感を抱えたまま授業をしなくてはならない状況下で授業の質が下がること」です。

少しでも、教職員の労働環境を改善し、子どもたちと教員の関わりが少しでも充実していくために以下のようなお願いをします。御理解とご協力をお願いします。

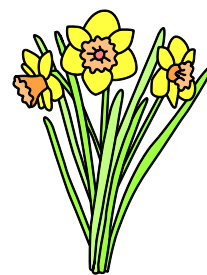
- ①夜間や休日、学校閉庁日の電話対応にご協力ください。夜間や休日には電話がつながりません。翌日以降の勤務時間にご連絡をください。
- ②勤務時間以外の児童の事件・事故等の緊急時は、警察・救急・消防等の関係機関にご連絡ください。
- ③学校・地域行事等の見直しを進めます。これまで続けてきた恒例の行事であっても、その実施について見直すことがあります。
- ④夜間に実施していた各種会議を午後に変更したり、夕方に実施したりする場合があります。

○ 皆様の御理解とご協力をお願いします。



2月の行事から

- 「社会を明るくする運動 福島県作文コンクール」において2年生が「優秀賞」に選ばれました。県知事表彰を受けました。



- 新1年生体験入学を行いました。新型コロナのため中止していた体験入学を実施しました。1年生から学校で勉強することについての発表を聞きました。



- 春の訪れ。学校ではアブラナの花、クロッカス、パンジー、スマレの花が咲いています。早すぎますね。



- 2月27日(火)に「6年生を送る会」を実施しました。

